

2025 年度 シラバス

科目名 発達臨床実践特論 (R7 認定通信)	単位数 4 単位	担当教員 岩澤 一美
テキスト		
(1) 阿部利彦・岩澤一美 (2019), 『“これだけは知っておきたい” 発達に気になる児童・生徒の理解と指導・支援』, 金子書房 ISBN-10:476083270X		
(2) 上野一彦・松田 修・小林 玄・木下智子 (2015), 『日本版 WISC-IVによる発達障害のアセスメント』日本文化科学社 ISBN-10:4821063719		
科目の概要		
発達障害の児童生徒に対する指導方法について、WISC-IVによる特性理解やそれに基づいた指導の在り方について具体的事例を挙げながら論及する。インクルーシブ教育の構築していくための取り組みは始まったばかりだが、その本質は基本的な方向性は障害のある子どもも障害のない子どもも、できるだけ同じ場所で共に学ぶということにある。そのような観点から、通常学級にいる発達特性上さまざまな困難を抱える児童生徒を支援する方法について考察する。		

I 科目の目的・ねらい

1. 発達障害の特性について正しく理解するとともに、児童生徒及び保護者へのさまざまな支援方法を修得する。
2. WISC-IVのプロフィール分析を通して、児童生徒の特性を把握し、それぞれに合わせた支援方法を立案することができる。

II 授業計画と評価

- 第 1 回 発達障害の特性理解
 - 第 2 回 心理教育アセスメント
 - 第 3 回 WISC-IVの概要
 - 第 4 回 WISC-IVの指標パターンによるプロフィール分析の方法
 - 第 5 回 WISC-IVによる特性分析
 - 第 6 回 個別指導計画と学習指導計画の作成
 - 第 7 回 行動上のつまずきと支援
 - 第 8 回 運動面での支援
 - 第 9 回 社会性のつまずきと支援
 - 第 10 回 クラスワイドのソーシャルスキル指導
 - 第 11 回 授業を通じてのソーシャルスキルトレーニング
 - 第 12 回 通級や支援教室を活用した支援方法
 - 第 13 回 保護者との面接及び家庭内の関係調整
 - 第 14 回 就学相談
 - 第 15 回 クラス担任・学校へのコンサルテーション
- 科目修得試験

評価については、レポート 50%、科目修得試験 50%の割合で行う。

Ⅲ 参考文献

- (1) 岩澤一美(2014),『クラスが変わる!子どものソーシャルスキル指導法』,ナツメ社
- (2) 大塚 玲(2019),
『インクルーシブ教育時代の教員をめざすための特別支援入門 第2版』,萌文書林